

とちぎの文化財

～受け継がれてきた豊かな財産～

本県は、室町幕府を開いた足利氏のふるさとであり、江戸時代には奥州街道、日光街道などの主要街道が通り、人や物が活発に行き交う地域であったため、多くの文化財が今に伝えられています。たとえば、世界文化遺産に登録された日光の社寺、日本で唯一「特別史跡」と「特別天然記念物」の二重指定を受けた全長約 37 km の日光杉並木街道、我が国最古の総合大学であった足利学校、日本三戒壇の一つである下野薬師寺跡など全国的に有名な文化財が存在しています。

日光の社寺といえば、東照宮陽明門のように国宝に指定されているものもあり、国宝の指定件数で本県は全国 10 位、また、国指定の重要文化財の数でも全国 17 位にあります。また、鉱山遺跡として世界遺産登録を目指す足尾銅山など、まだまだ保存すべき素晴らしい文化財があります。

さらに県指定の文化財の件数は、岐阜県に続く全国 2 位を誇り、その中でも、美術工芸品に限ると全国 1 位となります。その内訳を見ると刀類が多数を占めていますが、他にお寺の鐘や打掛、仏具、木造の仮面など様々なものがあります。また、史跡では田中正造の旧宅（佐野市）、殺生石（那須町）が、有形民俗文化財ではとちぎの山車（栃木市）が挙げられます。

なお、国及び県指定の文化財の件数を市町別でみると日光市が 222 件と最も多く、次いで足利市 168 件、宇都宮市 130 件、佐野市 76 件と続きますが、ほぼ全県下に点在しています。

これら県民の豊かな財産である文化財を保護するとともに、次世代に継承していくことが大切です。

指 標 名		指標値	順位	全国
1	国宝指定件数(H18.7.1現在)	16点	10位	1,073点
2	国指定重要文化財(H18.7.1現在)	149点	17位	12,561点
3	都道府県指定文化財等件数(H18.7.1現在)	823点	2位	20,391点
4	有形文化財(美術工芸品):都道府県分(H18.7.1現在)	607点	1位	9,548点
5	市町村指定文化財件数(H18.7.1現在)	2,856点	5位	84,210点

※ 1～5 都道府県指定文化財等件数（文化庁）

図1 都道府県指定文化財件数

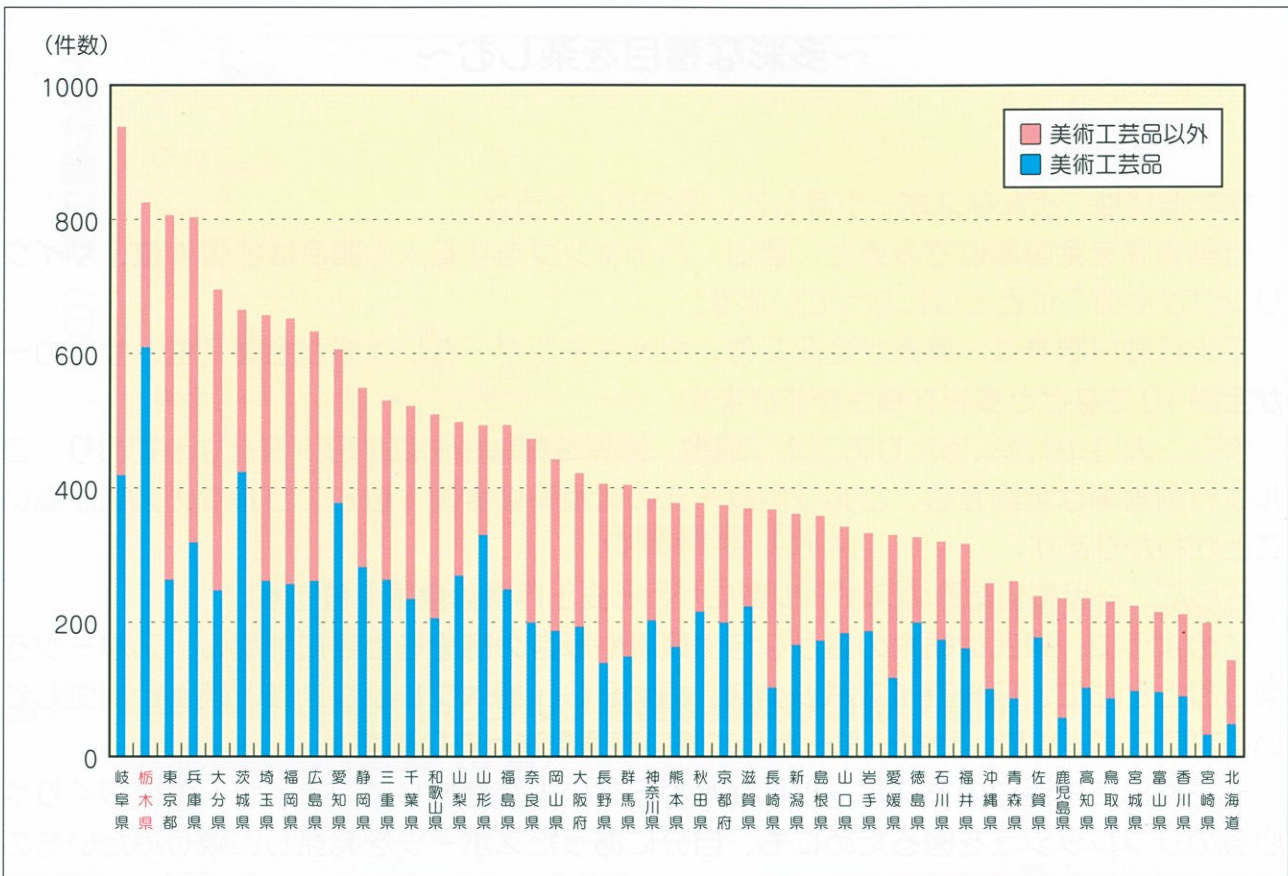


表1 国指定重要文化財（149点）中の美術工芸品内訳

国指定重要文化財	美術工芸品（計118点）						
	絵画	彫刻	工芸	書跡	古書	考古	歴史
	8	10	55	33	4	7	1

※図1・表1 都道府県指定文化財件数（文化庁）

トピックス

— 身近な文化財 —

「文化財」というと、堅苦しいイメージが付きまといますが、なかには私たちの生活に関わりの深いものもあります。

たとえば、第一回重要無形文化財保持者（人間国宝）の濱田庄司等を生んだ益子焼は、もともと庶民の暮らしに密着した極めて実用的なものでした。その後、濱田庄司が益子に定住し、丹精を込めた作品を作り、柳宗悦らが益子焼を民芸品として高く推奨したため有名になり、現在も多くの作家が益子に住み、作品を発表しています。

先人たちのたゆまぬ努力、恵まれた地域の特性等により、継承されてきた伝統的な民芸品を、今後ますます発展させ、後世に伝えていくことが大切ではないでしょうか。